

★ 関西日本ラトビア協会が発足しました ★ 2008年9月24日

ヴァイヴァルス大使を迎え、関西日本ラトビア協会の発起人による設立理事会が開催されました。出席者全員の了解のもと会長には天江前関西大使、理事長には東郷名誉領事が就任し協会の活動がスタートしました。すでに150名を超える皆様のご入会をいただき、ラトビアからの来賓を招いた懇親会の開催など、友好を深める活発な活動を展開しております。今後は会員の皆様の相互交流を通じて、両国の芸術や文化を知り、良き伝統に触れていただけるような様々なイベントの企画や情報発信を行ってまいります。



【ヴァイヴァルス駐日大使】
協会名誉顧問

★ 設立理事会におけるヴァイヴァルス大使の祝辞 ★ 日本とラトビアの未来を担う協会の設立に期待します！

大阪に名誉領事館が開設されてから約4ヶ月という短い期間で、この地に新しい友好協会を設立していただき大変うれしく思います。発起人の皆様に心から感謝申し上げます。

駐日大使として2006年に来日以来、皆様のご支援によってわずか2年間で3ヶ所の名誉領事館のネットワークを築くことができました。特に大阪・関西は経済規模も大きく伝統文化遺産も豊富で最も重要視する地域です。関西とラトビアの関わりは古く、興味深いエピソードがたくさんあります。

実は今から90年以上も前、1919年頃、関西学院（現在は兵庫県西宮市だが、当時は今の神戸市灘区にあった）にヤーニス・オゾリンシュというラトビア人が英語教師として来日しています。おそらく日本に初めて住んだラトビア人ではないかと思いますが、関西学院の学院史編纂室の池田さんが熱心に調査を行ってくださいました。

また神戸市は1974年からラトビアの首都リガ市と姉妹都市となっています。来年は提携35周年を迎えますが、それを記念して今年と来年にかけて相互に訪問団が送られる予定になっています。今年11月にはリガ市長はじめ70名超の訪日団が神戸を訪れます。

ビジネス交流で言えば、ラトビア産の合板販売事業で優れた成功を収めておられるリガウッド・ジャパンがよく知られています。

そして2007年には、天皇皇后両陛下がラトビアへ歴史的な親善訪問を行われました。その後両国民は相互に深い関心を抱くようになり、真の友好を求めて新しい時代の幕が切って落とされたのです。

このような時期に関西日本ラトビア協会が設立されたことは、文化・観光・貿易・投資などの面で両国の交流促進に大きな役割を果たしていただけるものと確信しております。

【関西日本ラトビア協会 ニュース 創刊号】 目次

【ページ】

- 1～2 関西日本ラトビア協会発足・ヴァイヴァルス大使祝辞・理事長・会長挨拶
- 3 ヴァイヴァルス大使、神戸市長を表敬訪問、セミナーにて講演
- 4～7 神戸・リガ姉妹都市提携35周年記念行事
- 8 独立90周年記念レセプション
- 9 外交官リンダさん来日、旅行会社「アズールブリッジ」エレナさんご夫妻来日
- 10 【寄稿文】石原美生子常務理事&東郷久野理事
- 11 ゴドマニス首相来日歓迎レセプション開催
- 12 長内大使ご夫妻を囲む懇親会開催
- 13～15 「歌と踊りの祭典」写真展開催ほか★トピックス★
- 16 関西日本ラトビア協会会員一覧

★ 設立理事会における会長・理事長の挨拶 ★

活動を通じて両国の友好に貢献できる協会を目指します！



【会長：天江喜四郎
前関西担当大使】

友好協会として日米協会や日中協会、日蘭協会などが活発に活動されています。国の規模の違いはありますが、この協会が日本とラトビアの友好の新しい架け橋になることを期待しております。

今年の秋にはNHKで司馬遼太郎の「坂の上の雲」がドラマ化されますが、日露戦争におけるヴァルティック艦隊はラトビアのリエパーヤという軍港から日本に向けて出航した歴史があります。このようにラトビアは日本ととてもゆかりの深い国です。両国の友好の発展に少しでもお役に立てれば幸いです。



【理事長：東郷武名誉領事】

名誉領事館の開設から、関西におけるラトビアに関する情報の発信、交流の受け皿、交流の企画促進などが出来る団体を立ち上げたいと考えておりましたが、その案を前外務省関西担当大使の天江喜四郎氏にご相談申し上げたところご賛同いただき快く会長をお引き受けいただくことができました。またヴァイヴァルス大使には名誉顧問として名前を連ねていただきました。設立にあたり発起人としてご尽力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

皆さん方のお知り合いにも、幅広く当協会についてご紹介いただき、ひとりでも多くの「ラトビアファン」を増やしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

★★ 関西日本ラトビア協会設立発起人・役員一覧 ★★

名誉顧問 ペーテリス・ヴァイヴァルス
(ラトビア共和国大使)

会長 天江 喜七郎
(前外務省関西担当大使)

理事長 東郷 武
(在大阪ラトビア共和国名誉領事)

常務理事
石原 美生子 (染色家)
上野 慶三 (リガ ウッド ジャパン代表)
権藤 眞楨 (元神戸動物園長)

理事
有友 美智男 ((株)伸和エージェンシー社長)
池田 裕子 (関西学院 学院史編纂室)
市嶋 久嗣 (関電不動産)
大國 利雄 (ディーワン 社長)
岡田 博 (イヌイ 常務取締役)
岡林 昌弘 (元運輸省)
金光 清行 (元神戸市国際部長)
小原 英明 (大阪中部ライオンズ)
小林 正明 (大和ハウス秘書室長)
正司 泰一郎 (元宝塚市長)
住江 六郎 (合唱指揮者)
橋 英三郎 (大阪大学名誉教授) * 監事兼務
田中 健造 (神戸市議員)
谷本 瑞絵 (スタンダース ジャパン 代表)
寺岡 志郎 (大阪日本ポルトガル協会) * 監事兼務
東郷 久野 (ピアニスト)
濱田 諭稔 (願成寺 住職)
藤本 昌男 (元園田学院女子大学教授)
風呂本 武敏 (愛知学院大学客員教授)
森脇 洋子 (宝塚市国際交流協会相談役)
山原 一晃 (竹中工務店顧問)
山本 敬子 (宝塚市議員)
金井 雅孝 (大和ハウス秘書課長) * 事務局長兼務

関西日本ラトビア協会 規約 (抜粋)

【会の目的】

ラトビアの文化、スポーツ、経済等で日本との交流に関する情報を集め、会報を通じて発信する。ラトビアから関西を訪問する人達と交流し、活動を支援する。関西からラトビアに観光その他の目的で訪問しようとする人達の企画を支援する。

【会員】

会の目的に賛同し、興味をもって参加される人はどなたでも会費を払って登録できる。

【会費】

入会金 1,000 円 年会費 3,000 円とする。

※会員の皆様のお名前を最終ページに記載しております

★ ヴァイヴァルス大使・東郷名誉領事が神戸・矢田市長を訪問 ★
 神戸・リガ直行便の就航実現を目指して！ 2008年10月7日



矢田市長と懇談される大使・名誉領事



【以下に懇談内容要旨】

- 市長：大阪の名誉領事館が大きな役割を果たしていますね。
 大使：東郷さんに名誉領事になっていただいて大変ラッキーでした。
 名誉領事：リガは地勢的に見てバルト海沿岸エリアの中心に成り得ると思います。
 神戸空港との間に直行便を飛ばしてはどうでしょうか？
 大使：5月に運輸大臣が来日しましたが、その目的のひとつは直行便を就航することでした。
 リガをヨーロッパだけでなく世界に向けたゲートウェイ、ハブ空港にしたいと思います。
 市長：関西エリアには3つの空港があり現在別々の経営形態です。一体的に運用ができればもっと
 利用者は増えると思います。それには規制緩和措置が必要ですが。
 大使：リガ空港は年間利用者が400万人ですが、それを2,000万人規模に伸ばしたい。
 市長：ビジネスのサポートをすることが市（行政）の役割、11月7日に大阪で開催されるビジネス
 セミナーでビジネス交流を深めていただくことを期待しています。このたびリガ市から
 神戸市にいただいた象の「ズゼ」に子供が生まれました。まさに友好のシンボルといえる快挙
 です。姉妹都市35周年の記念行事を成功させてますます友好の絆を深めていきましょう。

★★神戸で「ラトビアの魅力」を語るヴァイヴァルス大使 ★★

兵庫EU協会・兵庫県国際交流協会主催のセミナーにて 2008年10月9日

矢田市長表敬訪問に先立ち神戸市内で行われたセミナーで、大使はDVDの映像を交え、1991年の再独立からEUと北大西洋条約機構への加盟を経て、今日目覚ましい経済発展を遂げた現状を説明されました。リガ市と神戸市は姉妹都市として35年を迎えることに触れ、今後も神戸との交流を深めていきたいと述べられました。またラトビアがロシア市場へのゲートウェイとして優位な場所であることから日本との経済交流も積極的に行っていきたいと抱負を述べられました。参加者からも活発な質疑応答がなされ、大使からはユーモアを交えてラトビアの気候風土や食べ物、観光スポットなどについて興味深い話題が紹介されました。



講演をされるヴァイヴァルス大使



セミナー受講風景

★★ 神戸・リガ姉妹都市提携 35 周年記念行事 ★★

2008 年 11 月 6 日～9 日

神戸市とラトビアの首都リガ市は、今年姉妹都市提携 35 周年を迎えます。それを記念してリガ市よりビルクス市長はじめ 70 名を超える訪問団が来日し、様々な記念行事が開催されました。また今年の 5 月には神戸市の使節団がリガ市を訪問する予定です。

11 月 6 日 (木) 神戸市・矢田市長主催のリガ市訪問団歓迎レセプションが開催

ヤーニス・ビルクス・リガ市長ご夫妻ならびにリガ市関係者とラトビア商工会議所会頭をはじめとする企業関係者など使節団 74 名を迎え、神戸市側は矢田市長はじめ神戸市の幹部の皆様が参加し歓迎レセプションが開催されました。また来賓として笹山元市長（神戸国際協力交流センター顧問）や東郷在大阪ラトビア共和国名誉領事、権藤関西日本ラトビア友好協会常務理事など多数参加され総勢 150 名を超える盛大なパーティとなりました。



ビルクス・リガ市長



矢田市長の歓迎挨拶



会場風景

11 月 7 日 (金) ラトビア投資開発公社主催「商談会」「ビジネスセミナー」開催

翌 7 日にはリガ市長とともに来日したラトビア企業 30 社が大阪市を訪れました。大阪商工会議所に隣接する展示会場「マイドーム大阪」にて日本企業 20 社が参加し商談会が開催されました。ガスや電力等のエネルギー関係の企業から運輸、IT、アパレル関係や建築、ツーリストといった幅広い業種のラトビア企業が一同に会して在阪の企業の皆様と個別に商談され、互いの国の状況など説明し合い大変有意義な催しとなりました。

個別商談会に続いて大阪商工会議所にて国際部のご協力により「ラトビアの首都・リガ、ヨーロッパ北部、CIS 市場へのゲートウェイ」と題してビジネスセミナーが開催されました。グラウルス・リガ市国際室長はじめ、オゾルス投資開発公社長官からリガ市の現状と将来展望について詳細な説明があり、50 名を超える参加者は大変熱心に聞き入っていました。終了後には懇親会も開催され、日本とラトビアのビジネスマン同士が親交を深めました。



商談会風景



熱心に聞き入るセミナー受講者



講演するオゾルス長官

11月7日（金） 東郷名誉領事主催の懇親会にリガ市長ご一行をお招きしました

神戸ハーバーランドにて開催されたラトビアの男性ヴォーカルグループ「COSMOS」と神戸市混声合唱団とのジョイントコンサートの終了後、東郷名誉領事主催の夕食会が催され、ヤーニス・ビルクス・リガ市長ご夫妻とヴァイヴァルス大使はじめ、グラウルス リガ市国際室長はじめリガ市の幹部6名にご参加いただきました。日本側は関西日本ラトビア協会から権藤常務理事と藤本理事が参加し、なごやかなひと時を過ごしました。市長は大変もの静かな紳士で日本の文化や風土について非常に造詣の深い方でした。



ビルクス市長ご夫妻



和やかな懇親風景



藤本昌男理事と固い握手

11月8日（土）ラトビアの彗星「COSMOS」を迎え JLSK 主催 歓迎の夕べを開催 於：大和ハウス工業本社

在大阪ラトビア共和国名誉領事館と関西日本ラトビア協会が主催する初めての友好イベントとして姉妹都市 35 周年を記念して来日したアカペラボーカルグループ「COSMOS」の歓迎パーティが開催されました。当日は「COSMOS」の演奏会の模様を大スクリーンで放映したり、友情出演の大阪音楽大学 OB・OG で構成される合唱クラブ「coro quinto」（コロ・クイント）の合唱も披露されました。歌手の小田陽子さんは自作詩「マールが与えた人生」を歌唱指導を交えて熱唱いただき、最後は参加者全員での大合唱となりました。



歓迎の夕べ会場風景



素晴らしい歌声を披露してくれた COSMOS

当初は歌う予定がなかった「COSMOS」のメンバーも参加者の熱烈な歓迎振りに心を打たれ、最後に生の歌声を披露してくれました。会場を埋めた 230 名を超える聴衆は、透き通るようなソプラノからハートに響くバスまでのハーモニーと七色のリズムを刻むボイスパーカッションの見事なリズムに大喝采を送りました。「COSMOS」のメンバーは大変気さくな若者で、参加者からのサインや写真撮影のリクエストに気軽に応じて、大変楽しくアットホームな歓迎の夕べとなりました。

★COSMOS 歓迎の夕べ スナップ★



開演前、法被を着てはしゃぐ COSMOS メンバー



名誉領事ご夫妻を囲んで



司会をいただいた
協会理事・山本敬子さん



マーラが与えた人生
を熱唱する小田陽子さん



通訳をお願いした
留学生リンダ・ガルワーネさん



coro quinto の
指揮者・荘雅弘さん



coro quinto (コロ・クイント) と COSMOS の合唱



中締めのと記念撮影

ラトビアの彗星【COSMOS】ご紹介

平均年齢 27 歳という若いラトビア人人からなる男声アカペラグループ。メンバーはそれぞれ専門的な教育を受けたリガ大聖堂少年聖歌隊出身。レパートリーは中世聖歌から現代のアカデミックな音楽、そしてジャズ、ポップなど多岐にわたるジャンルとスタイルで活動している。

2003 年にグループが結成されファーストアルバムが大ヒット、その年の年間ベストヒット賞を受賞し一躍ラトビア内にその名前が知られることとなる。これまでにリリースされたアルバムやライブの DVD も大ヒットし、現在は国外のコンサートでも人気上昇中。

メンバー：

- Janis Sipkevics ヤーニス・スピケビクス(カウンター・テナー)
- Andris Sejans アンドリス・セイアス(カウンター・テナー)
- Juris Lisenko ユリス・リセンコ(テナー)
- Janis Ozols ヤーニス・オゾルス(バリトン)
- Janis Strazdins ヤーニス・ストラシンス(バス)
- Reinis Sejans レーニス・セイアンス(リズム)

11月9日（日） COSMOS コンサート in 宝塚 開催 於：宝塚ベガホール
大阪での歓迎の夕べに続き関西日本ラトビア協会主催のコンサートが盛大に開催されました。

COSMOS は合唱の国ラトビアのリガ大聖堂少年合唱団出身のア・カペラグループと聞いていましたが、宝塚での公演を企画するに当たり、彼らの音楽スタイルが中世聖歌やクラシック、ジャズを歌うだけでなく現代ポップスを中心としたショーとしての舞台構成で活躍しているという情報が入ってきました。つまりベガホールのようなクラシック音楽専用ホールでは曲目が限られてきます。したがって演目は当日まで決定されず、本番直前のリハーサルでステージの残響や音色を確かめてから、ベガホールにふさわしい曲を選んでくれました。その心配りとプログラミングは見事なものでした。

まず司祭の祈祷と会衆の唱和という典型的なキリスト教音楽をラテン語で3曲披露し、それは完全なノンビブラートでホールの響きをうまく使ったソプラノパートや一瞬純声調かと思える透明感のあるハーモニーでした。その後はのびのびとラトビアのポップスを色彩豊かに歌っていました。



素晴らしい歌声を披露してくれた COSMOS の皆さん



小田陽子さんと関学グリークラブの合唱



司会の山本敬子理事

全員が聖歌隊出身でその後専門的な音楽教育を受けたというだけあって、いずれの曲も完成度が高く、ショーマンシップに裏打ちされた素晴らしいステージで、今回の来日で唯一彼らの宗教音楽が聴けたベガホールの聴衆には至福のひとつきでした。終了後、感動したお客様の中には「魂の歌声ですね」と涙ぐみながら感想を述べる方もいました。

また約90年前にラトビア人として初めて来日したオゾリンという人が関学の英語教師であったご縁で、友情出演を引き受けてくれた関西学院グリークラブの皆さんも熱演いただきました。急遽共演を依頼した小田陽子さんも快く駆けつけてくださり、「マーラーが与えた人生」を会場の皆さんと共に熱唱いただきました。この歌はロシア人の歌詞の翻訳で「100万本のバラ」として日本でも有名ですが、実はラトビアの曲です。小田さんは原詩を自ら和訳して歌っておられます。終了後はベガホール地階で出演者が一同に会して一緒に打ち上げ、両国の若者が友情を育みました。



関西学院大学グリークラブの皆さんと賑やかに懇親



公演後はまるでサイン会

★ 独立 90 周年記念レセプションが盛大に開催されました ★

2008 年 11 月 17 日 於：ホテルオークラ東京

ラトビア共和国の第一回目の独立から数えて 90 年の節目を祝して、ホテルオークラ東京にて 460 名を超える参加者を集め、ラトビア大使館主催の記念レセプションが盛大に開催されました。来賓のラトビア議員連盟会長の中曾根弘文外務大臣の祝辞に続いて、3 人の名誉領事が勢ぞろいして豪華な鏡割りを行われました。またかわいらしい NHK 東京児童合唱団による「夕やけ」や「百万本のばら」など日本とラトビアの歌の披露もあり、非常に和やかなイベントとなりました。



祝辞を述べられる中曾根弘文外相



名誉領事による鏡割り



日本ラトビア音楽協会
加藤晴生専務理事の乾杯



NHK 東京児童合唱団



民族衣装を纏った
グナ・レイマンドヴァ書記官



石原美生子常務理事

【90 周年式典 中曾根外相の祝辞】

ラトビア議員連盟会長として独立 90 周年を心よりお祝い申し上げます。

私は 2 年前、そして今年 7 月にリガを訪問しました。今年度は丁度 5 年に一度の歌と踊りの祭典を目の当たりにし、その素晴らしさに感動しました。さすが 135 年の歴史をもつ国民をあげての祭典であると感じました。

リガの街は古いヨーロッパの面影を残し、アールヌーボーの建築物が建ち並ぶ大変美しい町でした。その美しさに改めて感動しました。この 90 周年を機に、さらに多くの日本人にぜひ訪問してもらいたいと思います。

ラトビアと日本の外交関係は、1991 年の再独立による新しい局面に入って以来、年々親密度を増してきました。そして 2006 年には東京に念願の大使館がオープンしました。

その後両国の友好関係は着実に成長してきましたが、2007 年には天皇皇后両陛下がラトビアを訪問され、両国間の関係は一気に深まっております。2009 年には、ついに特命全権大使が派遣される見通しです。このような外交の歴史を基盤にして両国の友好関係が今後ますます盛んになりますよう心からお祈り申し上げます。

★ ラトビアの外交官リンダ・ガイビセラさんが来日 ★

専門日本語研修 歓迎レセプション 国際交流基金関西国際センター 2008年10月2日

国際交流基金が主催し海外各国の外交官や研究者を対象にした日本語研修に、ラトビア共和国外務省リンダ・ガイビセラさんが難関を突破して選抜され来日されました。

今後専門分野でプロフェッショナルとされる世界35カ国から39名の若者が関西国際空港の対岸りんくうタウン（大阪府泉佐野市）の近くにある関西国際センターに集まり歓迎会が催されました。8ヶ月の長期にわたる日本語研修を通じて、日本語の運用力を身に付けていただくとともに、日本の文化や社会に親しむことで将来知日家として日本と諸外国の架け橋となっただけのものも期待しています。主催者であるセンター長の藤洋作氏は東郷名誉領事と大学の同期生ということもあり、リンダさんを交えて歓談に花を咲かせていました。



関西国際センターの藤洋作所長
(関西電力相談役)と歓談



各国の参加者との懇親

★ 「アズール・ブリッジ」 エレナ・ヴィクトロワさんご夫妻が来日 ★

日本とラトビアの旅行会社が力をあわせて交流を促進

2008年11月4日



伸和エージェンシー有友社長・迎山氏、
リガウッドジャパン上野代表らと名誉領事館にて

昨年東郷名誉領事がラトビアを訪問した際に現地ガイドをつとめてくれたラトビアの旅行会社「アズール・ブリッジ」エレナ・ヴィクトロワさんご夫妻が来阪し、名誉領事館を訪れました。東郷名誉領事を囲んで、リガウッドジャパン上野社長、伸和エージェンシー有友社長と面談しました。

エレナさんはロシア文化にも造詣の深い才媛ですが、かつて日本に留学した経験から日本語が堪能で、ご主人は空手の有段者で日本の武道の普及発展にラトビアで大いに貢献されていらっしゃるのと聞きました。

お二人とも大の日本通で、今後増加していくであろう日本とラトビアの旅行者のお世話を積極的に行いたいと抱負を語られていました。同席した有友社長からも大和ハウスグループのツーリスト部門としてWIN-WINの関係になれるよう協力していきましょうと約束されました。

【寄稿文】 ★ ラトビアきっての日本通 ブリギッタ・クルミーニャさん来日 ★

2008年11月13日～23日【東郷久野理事】



とてもエネルギッシュなブリギッタ女史

独学で日本語と日本文化を勉強され、17年前にリガで日本語教室を開設、現在「言語塾」を主宰しているブリギッタ女史が11月13日から23日まで日本を訪問されました。東郷名誉領事宅でのホームステイを拠点に日本の友人たちと旧交を温め、新たな友情を育んで日本の秋を満喫しました。

関西では、能楽堂の休館日を知らず、ひとりで訪ねた彼女のために能楽堂さんは急遽短編を一席披露。お代は結構という粋な計らいに感謝。宝塚歌劇では丁度“源氏物語”を公演中。文楽、歌舞伎と堪能しました。

また当協会会員で17年前に彼女の日本語教室開設に協力して、1年間リガに滞在した、親和女子大学の中橋美穂准教授の案内で山陰の浜坂で切り絵の大家に会ったり 東京で開催されたラトビア共和国独立90周年記念祝賀会に出席したり、富士山に登ったり（季節的に途中まで）など精力的に活動しました。リガで待つ生徒たちのお土産にと“筆ペン”を大量に買い求め、元気に関西空港から離日されました。

【寄稿文】 ★ ラトビア・宝塚交流記「ラトビア」のお話を聞く ★

2008年12月13日【石原美生子常務理事】



石原美生子常務理事



オレグスさんを囲んで



清荒神清澄寺ご住職から講話



“おうす”を一服

11月の「COSMOS」の宝塚公演に引き続き、12月13日にはオレグス駐日ラトビア共和国大使秘書官をお招きして、宝塚の市民団体との交流会がおこなわれました。

主催の「宝塚文化財ソサエティ」は、宝塚市が国際観光モデル地区に指定された際に、善意通訳者で構成されたグループで、宝塚の文化財を国内外のより多くの方に伝えるべく、研究、活動しているグループです。

当日は東郷名誉領事夫人がオレグス氏をご案内し会員約30名がお迎えしました。ほとんどの会員がまだよく知らないラトビアについてオレグス秘書官は、ビデオやパンフレットで、そしてバルザムというお酒も振舞って（一口ずつ！）楽しく話してくださり、ラトビア共和国の歴史や、町並み、建造物、豊かな自然、合唱祭などを紹介いただきました。感銘を受けた会員は「ぜひ行ってみたい」と意気はあがりっぱなしでした。

午後は会員がオレグス氏を宝塚が誇る「かまどの神様」として知られる真言三宝宗の古刹“清荒神清澄寺”へのご案内。境内一巡のあと聖画家富岡鉄斎の作品を納めた鉄斎美術館、新設の博物館を案内し、このお寺が台所に関係していることに興味をもたれ、住職夫人のお点前で“おうす”のおもてなしに会員との歓談は弾み、なによりも日本の伝統文化に直接触れたことを大変喜んでいただきました。住職も貴重なこの機会を喜ばれ、晩秋の紅葉とともに、ラトビアと宝塚の交流の架け橋はさらに深まりました。

★ イワニス・ゴドマニス首相が来日 ★

関西日本ラトビア協会主催の歓迎レセプションにご出席

2009年1月23日 於：長浜ロイヤルホテル



ゴドマニス首相挨拶



和やかな懇親会風景



長内大使挨拶



中締めは上野常務理事

ラトビア共和国のイワニス・ゴドマニス首相が初めて来日されました。首相ご一行は東京での天皇皇后両陛下への拝謁や麻生総理、中曽根外相との面談など公式行事を無事終えられた後、長浜ロイヤルホテル（滋賀県長浜市）にて関西日本ラトビア協会の主催による歓迎会に出席いただきました。

関西日本ラトビア協会側は、天江会長・東郷理事長はじめ会員約50名がお迎えし、ヴァイヴァルス大使ほか同行の5名のラトビア政府首脳らと懇親を深めました。またゲストとして語学研修中のラトビア外務省リンダ・ガイビゼラさんや大阪大学で日本語を勉強している留学生ギタ・プリニャさんらも参加いただきました。

この懇親会には初のラトビア駐在の特命全権大使に任命されたばかりの長内敬（おさない・たかし）大使も出席され、赴任を直前に控えてその豊富を述べられました。これまでラトビアには駐在官事務所しかありませんでしたが、1月1日に大使館に格上げされました。

ゴドマニス首相はスピーチで、ジャズがお好きで日本のダークダックスをご存知のことや、黒澤明の映画や安部公房の本で日本を知ったことなどを紹介されながら、「国と国の友好はその国民と国民の友好で築かれていく」と東郷名誉領事と関西日本ラトビア協会の皆様に感謝の言葉をいただきました。ゴドマニス首相は、ラトビアの首都リガの出身でラトビア人民戦線から、のちに右派政党「ラトビア第一党・ラトビアの道」に移り党首を務められ、1990年にソ連邦から独立した新生ラトビアの初代首相を務め、共産主義体制から資本主義体制への転換を押し進められた方です。



下鴨神社をご案内



自らお手前を体験



天江会長と首相

翌日は外務省大阪分室の手配で京都御所や下鴨神社、清水などを見学されました。昼食時には、ゴドマニス首相に抹茶のお手前を体験してもらったり、舞妓さんの踊りをご覧いただくなど日本の古都京都の風情を満喫していただきました。

首相は観光された先々で非常に熱心に質問され、日本を理解しようという熱意を感じました。意志の強そうな表情と笑顔の優しさのコントラストが印象的でした。

★ 初代ラトビア大使に長内敬氏が就任されました ★

関西日本ラトビア協会主催の懇親会にご夫妻をお招きしました

2009年2月10日 於：神戸メリケンパークオリエンタルホテル

神戸市長を表敬訪問された長内大使ご夫妻を囲んで、阪神エリアの関西日本ラトビア協会会員有志による懇親会が神戸メリケンパーク・オリエンタルホテルにて開催されました。

急な呼びかけにもかかわらず40名を越す皆様に駆けつけていただきました。濱田諭稔理事の乾杯に始まり和やかに食事をしながら懇親を深めました。



長内大使挨拶



大使夫人は神戸生まれ



荒牧真佐子様・東郷久野理事・池田裕子理事

会の中では、司会の藤本昌男理事から参加の皆様のお名前を紹介した後、特にラトビアと関係の深い皆様からスピーチをいただくコーナーがありました。

金光清行理事（元神戸市国際部長）からは、かつて旧ソ連の時代にリガを訪れた宮崎市長（当時）がリガとの姉妹都市提携を即決されたエピソードを披露いただきました。

権藤眞禎常務理事（元王子動物園長）からは象の寄贈を受けた話、上野慶三常務理事（リガウッドジャパン）からはラトビアの主産業である林業の紹介やサウナの発祥がラトビアだったという大変興味深い話もうかがえました。

また池田裕子理事（関西学院）からは、自ら研究されているかつて関西学院で教鞭をとったラトビア人オゾリン氏について熱く語っていただきました。

神戸市国際推進室長の上田享史氏からは今年5月に神戸リガ友好姉妹都市35周年記念して神戸市矢田市長が団長になりラトビア訪問団が組織されることが紹介されました。

締めくくりにラトビアの名曲「マーラが与えた人生」を全員で合唱してラトビアへ赴任される長内大使ご夫妻のご健勝をお祈りしました。



乾杯は濱田諭稔理事



権藤眞禎常務理事



神戸市上田享史
国際推進室長



金光清行理事



司会を務めた
藤本昌男理事

★ ラトビア「歌と踊りの祭典」写真展 開催 ★

2009年2月16日～27日 於：名誉領事館にて



在大阪ラトビア共和国名誉領事館では、2月16～27日の期間、ラトビア共和国の写真家による作品の展示会を開催しました。2008年7月に開催された「歌と踊りの祭典」に参加した人々の、躍動感溢れるポートレートです。約40枚のパネルを展示しましたが、名誉領事館のある大和ハウス本社ビルを訪れる方々など多くの方にラトビアの風物に触れていただく貴重な催しとなりました。

「歌と踊りの祭典」写真パネル 抜粋



この祭典は、135年の伝統を持つラトビア共和国の国家的イベントで、今回は5年間にわたる予選を勝ち抜いたグループ約3万人が、全国各地から首都リガに集まり、8日間にわたって合唱と踊りの競演を繰り広げました。現地を訪れてリハーサルやパレードを生でご覧になった東郷名誉領事も「3万人の合唱はすごい迫力。またパレードする人々の表情が輝いていました」と、歌声の国と呼ばれるラトビア共和国の明るい国民性に、大きな感銘を受けたと語っておられました。

必見!! 【EU フィルムデイズ 2009】でラトビアの映画が上映されます!

・・・もちろん日本語字幕です!

ヨーロッパの様々な映画を紹介するイベントで、ラトビアの映画「バトル・オブ・リガ」が上映されます。第一次大戦後、独立直後の故郷に帰還した兵士目でみた1919年11月11日の首都リガが開放される模様が描かれている歴史ドラマです。

日時：6月6日(土) 16:00～

場所：東京国立近代美術館フィルムセンター(東京都中央区京橋3-7-6)

料金：一般500円

ほかにも質の高いヨーロッパ映画が、5月29日から6月20日の間で上映されますので、ぜひお出かけ下さい。詳しくは下記URLをご参照下さい。

<http://www.eufilmdays.jp/>

★ 次号から ラトビアの歴史について 連載を開始します ★

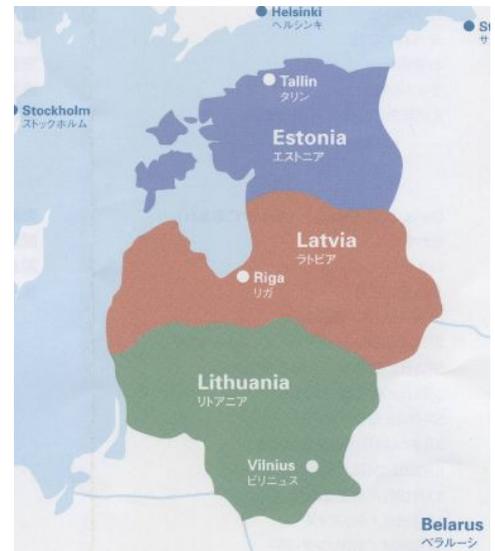
今年の秋には NHK で 3 年にわたって映像化する大河ドラマ「坂の上の雲」（原作：司馬遼太郎）がスタートしますが、舞台となる日露戦争時代はラトビアとも大いに関係しています。そのような背景をふまえ、読者の皆様にラトビアをもっと知っていただく企画として次号から益田信行会員の寄稿で、ラトビアの歴史について連載を始める予定です。今回は、以下にそのプロローグとして現在のラトビアの国勢と 20 世紀以降の主な出来事をご紹介します。

【ラトビア共和国の概要】

ラトビアは、二度の世界大戦で独・ソ両軍の衝突の舞台になり、その狭間の中で翻弄され続けました。20 世紀以降その一部を述べてみますと以下のとおりです。1918 年革命によって崩壊したロシア帝国から独立し共和国を宣言。1940 年ソ連邦に編入されて、ソビエト社会主義共和国となる。1991 年再びソ連より独立を回復し、2004 年 3 月 NATO 加盟、5 月には EU へも加盟して、以来今日まで目覚ましい経済発展を遂げました。

先日ラトビアの話をして友人にしたら、日本と比べて「人口はどれくらいか?」とか、「国土の大きさは?」と矢継ぎ早に質問を受けました。そこで先ずラトビアの概要について記します。

※主に 2009 年 4 月外務省発表から引用 (益田信行 記)



- 【面積】 6.5 万 k m² (およそ日本の 1/6 北海道の 4/5)
- 【人口】 226.2 万人 (2008 年 12 月現在 ラトビア統計局)
- 【首都】 リガ (2008 年 人口 71.7 万人 バルト三国最大の都市)
- 【公用語】 ラトビア語 (バルト語族)

(中高年層にはロシア語やドイツ語、若年層には英語がよく通じる)

- 【政治体制】 共和制
 - 【宗教】 プロテスタント(ルター派)、カトリック
 - 【主要産業】 木材関係品、繊維製品、漁業、金属加工品
 - 【GDP】 271.54 億ドル (2007 年世銀)
 - 【通貨】 ラツ [為替レート 1 ラツ=約 179 円(2009.1 現在)]
 - 【姉妹都市】 神戸市とリガ市、北海道東川町とルーイエナ町
 - 【気候】 海洋性で高緯度の割りに温和
- ※2004 年 3 月 NATO 加盟、同年 5 月 EU 加盟



2008 年 10 月 ヴァイヴァルス大使の関学訪問
グローバル院長(女性)を囲んで
(関西学院学史編纂室ご提供)

次号【ラトビア人・オゾリンさん】について詳報！

また本創刊号でヴァイヴァルス大使に次いで最も名前が多く登場したラトビア人は?といえ、かつて関学で英語を教えたラトビア人・オゾリンさんです。そのオゾリンさんについても協会理事で関西学院学院史編纂室の池田裕子さんからぜひご紹介をしていただきたいと思います。

池田先生はご研究の中で 90 年も前に関学で教鞭をとったこの人物を見出され「学院史編纂室便り」を通じて紹介されたところ、ヴァイヴァルス大使の目に留まり大変感謝されたそうです。それがご縁で昨年 10 月には大使が関学を訪れ現在の学生達に向けてラトビアについて語っていただくという交流会が実現しました。

自らラトビアと日本の架け橋となられ「恋人オゾリンさん」の研究を続けておられる池田さんから、ラトビアがロシアから独立する直前の一時期事実上ラトビア領事として日本と深く関係を築いたオゾリンさんについて次号でお聞きしたいと思います。

トピックス【神戸・リガ姉妹都市 35 周年事業にあわせた JLSK ツアーのご案内】

・期 間：2009 年 5 月 20 日～27 日 ・訪問地：リガ・ストックホルム・ヘルシンキ

神戸市矢田市長とともに世界遺産の街「リガ」を訪問しましょう！

神戸リガ姉妹都市 35 周年記念行事が 5 月 21 日から 22 日にかけてリガ市で開催されます。神戸市からは矢田市長をはじめ市の関係者の皆さんや神戸市混声合唱団など多彩な顔ぶれがラトビアを訪問する予定です。

当協会では 5 月 20 日からその公式行事の前後でリガを観光し、また北欧フィンランド・スウェーデンを訪れるツアーを企画しました。ノーベル賞授賞式の会場ストックホルム市庁舎の視察やシリアラインによる豪華客船でバルト海クルーズなど盛りだくさんのツアーを予定しています。

なお神戸市長との公式行事は以下のとおりです。

5 月 21 日（木）

- 16:00 神戸紹介展示会 オープニング式典（リガ市役所）
- 17:00 神戸市混声合唱団コンサート（ブラックヘッドハウス）
- 18:00 リガ市長主催レセプション（ブラックヘッドハウス）

5 月 22 日（金）

- 11:00 「神戸園」起工式/プレート除幕式（メテオラ公園）
- 12:30 リガ市長主催昼食会
- 18:00 神戸市混声合唱団と地元合唱団【アヴェ・ソル】コンサート（聖ペテロ教）
- 20:00 解散懇親会

トピックス【真冬のラトビアから】リガウッド上野さんからラトビアだより 2009 年 2 月某日



上野様（ロシアとの国境沿いの街 Rezekne にて）・・・
Rezekne はラトビアで最も寒い街だそうです

おそらく最も日本・ラトビア間を往来している日本のビジネスパーソンであるリガウッドの上野さんから真冬のラトビアの様子が届きました。「木材業界にとってはいくら寒くても吹雪いても今は最盛期、川が凍っている冬の間は年間使用量の 60～70%を伐採し運び出す」そうです。

UE に加盟して高成長を遂げてきたラトビア経済は現在大変な状況ですが、「治安の心配は全くないから安心してラトビアへ来て下さい」とラトビアファンを増やす地道な努力を日夜続けておられます。

トピックス【ブラックバルサム】・・・ラトビア産 銘酒の紹介

製造：Latvijas balsams アルコール度：45%

18 世紀半ばに薬剤師によって考案された薬用酒で、かのロシアの女帝エカテリーナも薬用としてたしなんだという伝統ある銘酒です。

シナノキの花、カバノキの芽、カノコソウ根、ラズベリー、ビルベリー、ジンジャーなど 24 種類の成分を含んでいますが、その製法はもちろん非公開。

世界的にも高く評価され、国際見本市などで 30 以上の賞を受賞。ラトビアで 18 世紀半ばから飲まれているポピュラーなお酒です。セラミックの瓶に入った養命酒のような薬用酒で、あちらではウォッカやコーヒー、アイスクリームにかけて使ったりするそうです。昨年は、大使館のオレグスさんが宝塚で講演をされた際、参加の皆様にご覧になってくれたそうですが、JLSK ではこの銘酒を輸入して皆様にお届けしようと現在準備中です。

ぜひご期待下さい！！



ご入会ありがとうございました！
 関西日本ラトビア協会会員一覧（敬称略 50音順）

平成 21 年 4 月現在

青柳 千代廣	尾崎 由佳	笹井 幹男	中西 雄生	本多 敬一
浅井 公平	尾上 輝美	佐々木 実	中橋 美徳	益田 信行
浅野 敏行	海堀 芳樹	佐竹 竜俊	永久 智子	松尾 茂和
朝本 福德	加賀 昌一	茂森 邦嘉	中村 きさ子	松下 桂三
芦田 雅行	片岡 みどり	篠原 安治	中村 雅夫	松本 宏
安達 和彦	片山 千絵子	清水 郁美	長村 文夫	水谷 隆之
阿部 雅子	加藤 啓子	下地 彰夫	中山 三喜子	三宅 康彦
天江 喜四郎	加藤 隆一	荘 雅弘	成瀬 康夫	村上 健治
荒木 美眞	金井 雅孝	正司 泰一郎	西尾 武	本島 昭男
荒牧 英樹	金光 清行	白木 哲次	西尾 正憲	森 寛一郎
有友 美智男	河合 令子	末田 恵得	西田 鶴男	森田 俊作
池田 裕子	河崎 圭亮	杉村 秀夫	西村 達志	森脇 洋子
石垣 豊	川端 康平	杉本 和子	根津 耕一郎	安田 勝
石橋 しゅん一	来田 登喜子	杉山 良夫	野井 一正	藪田 雄三
石原 美生子	北山 幸治	住江 六郎	灰田 昌美	山口 利幸
市嶋 久嗣	北山 秀俊	高野 武法	蓮池 寛	山崎 一典
市村 浩一郎	衣笠 武彦	滝本 収	濱田 諭稔	山崎 俊輔
井手 正敬	木下 大洋	竹村 肇	濱田 賢時	山下 博史
稲垣 研三	木下 武幸	橋 英三郎	濱田 諭奈	山田 助太郎
井上 昭二	木村 咲子	立花 修	早川 明弘	山田 弘光
今城 孝司	木村 至宏	立岡 弘	原 登久子	山原 一晃
岩崎 信一郎	清村 勝也	田中 健造	東田 正己	山本 敬子
上北 耕司	糸 悦子	田中 立子	樋口 武男	山本 靖
植田 多江子	黒川 省二	谷 義一	樋口 敬和	山本 理恵
上野 慶三	小石原 昭	谷本 瑞絵	日比 富美子	湯上 敬明
上野 龍平	康 浩郎	寺岡 志郎	平井 義孝	横山 晴貴
植村 義昭	小原 英明	東郷 武	平越 國和	横山 浩明
牛島 国夫	小林 正明	東郷 久野	平本 奈穂	吉村 義治
榎本 昌浩	木挽 司	富永 章之	藤田 凱三	吉村 セイ子
江間 範夫	小山 泰三	鳥尾 二郎	藤原 和之	米田 裕子
大國 利雄	小山 昌身	ドミトリス・	藤本 英治	脇山 廣三
大野 美保子	紺谷 達也	ベロウソフス	藤本 昌男	和田 弘
岡田 博	権藤 眞禎	中垣 喬子	藤山 かよ	渡辺 範子
岡田 安路	佐々 美汎	長瀬 博享	古海 賢二	
岡林 昌弘	酒見 信義	長塚 徹	風呂本 武敏	
岡本 健			堀田 健二	

【関西日本ラトビア協会ニュース創刊号 編集後記】

2008年9月の協会設立以来、160名超のご入会を得て、ラトビアという国が大阪、関西でも少しずつではありますが認知されてきたような気がしています。神戸とリガの記念式典やゴドマニス首相の歓迎レセプションなど大きなイベントもあり、会員の皆様にも多大なご協力をいただきました。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

この度ようやく創刊号を出すことができました。事務局の力不足を痛感する次第ですが、年に2回程度のペースで情報発信をしていきたいと思えます。会員の皆様のご支援ご協力なくしてはできません。温かく育てていただきますよう切にお願い申し上げます。

世界は今100年に一度の経済危機と言われ不況の嵐が吹き荒れています。ラトビアもその影響を免れず国内景気は悪化の一途をたどり悲観的な報道ばかりが目につきます。政治の面でもゴドマニス首相は帰国後辞職され、新たな体制でこの大きな波を乗り切ろうとしている状況です。心配ではありますが、いつまでも不況が続くわけではありません。素朴で明るい国民性のラトビアの皆さんはそのエネルギーをもって明日の力に変えていくことでしょう。今年は神戸市長がリガ市を訪れる予定もありますので、当協会としても微力ながら引き続き両国の友好と経済発展に寄与すべく各方面と手を携えていきたいと思えます。（事務局長 金井雅孝）